

「第3回平成26年台風11号を踏まえた今後の出水対応を検討する会」の
開催結果について

1 開催日時

平成26年12月24日（水） 阿南市で開催

2 第3回会議の概要

（1）議事の内容

国及び県において無堤地区の河川整備の状況を説明するとともに、長安口ダム改造事業の概要及び長安口ダム改造事業と河川整備の進捗に応じた今後の出水対応等について説明が行われ、その後、委員による意見交換が行われた。

（2）検討会の最終とりまとめの内容

① 那賀川で、過去最大流量を記録した要因は、

- ・事前の台風12号の影響
- ・那賀川上下流域での特徴的な降雨波形
- ・本川と支川の流量ピーク的一致

によるものであった。

② 台風11号における長安口ダムの操作については、限られた治水能力の中で、最善の対応であったと認める。

なお、引き続き、ダム操作について県民への分かりやすい説明を求める。

③ 国、県及び地元市、町など関係機関が連携・協力し、次の出水期までにタイムラインを作成する必要がある。